

1 Windows10 の基本操作

Windows10 は以前の Windows8.1 に比べ、数多くの点で変更されました。

新しいスタートメニューやデスクトップ画面の融合など、よりわかりやすくなりました。このユニットでは Windows10 の基本操作を学ぶことを通じて、新しい操作方法も身に付けていくことを目的にしています。さあ、始めましょう。



1. Windows10 とは

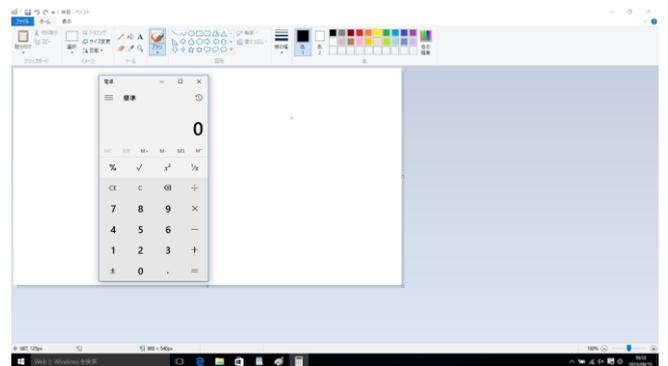
Windows10 はこれまでの Windows パソコンとどこが異なるのでしょうか。

たとえばスマートフォンなどと同じように指での操作もできるようになったことや(タッチ対応機のみ)、インターネット(クラウド)を通じて、必要なデータに「いつでも」「どこでも」アクセスできるようになったことなどが大きなポイントです。

また、長く Windows パソコンを利用してきた方にとっては馴染みのある「スタートメニュー」も再登場しました。



使いやすくなった
スタートメニュー



アプリも充実



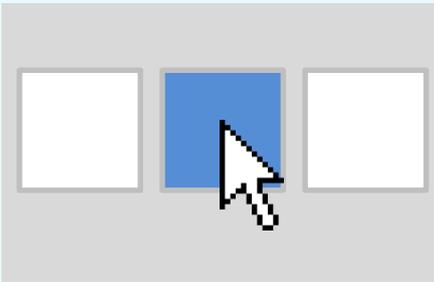
2. マウスの基本操作を知ろう

Windows10 のパソコンも、これまでのパソコンと同じようにマウスで操作をすることができます。マウスを使うのが初めてでも、使っているうちに慣れていきますが、不安な方は講師やインストラクターと一緒に少し練習しましょう。マウスの基本操作は次の通りです。

解説を
読もう

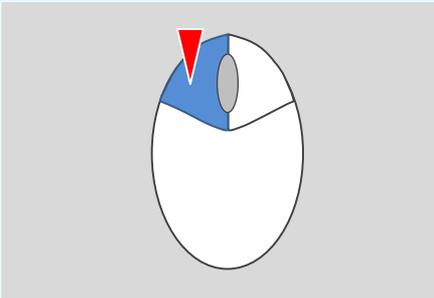


マウスによる基本操作



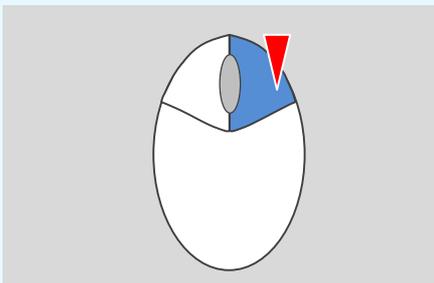
ポイント(目標に合わせる)

マウスポインター()を特定の場所に合わせる操作です。



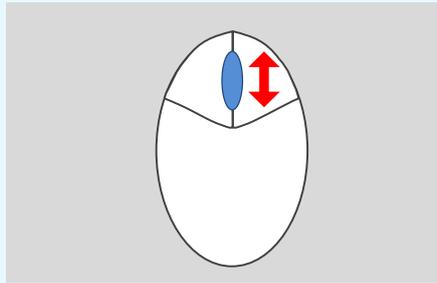
クリック・ダブルクリック

マウスの左ボタンを押すことを“クリック”、二回続けて押すことを“ダブルクリック”といいます。クリックは何かを選んだり、画面上のボタンを押したりする場合によく利用します。



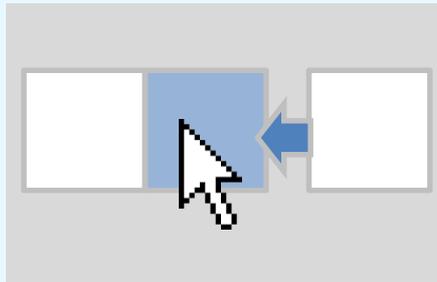
右クリック

マウスの右ボタンを押すことを“右クリック”といいます。その場に応じたメニューなどを表示させます。



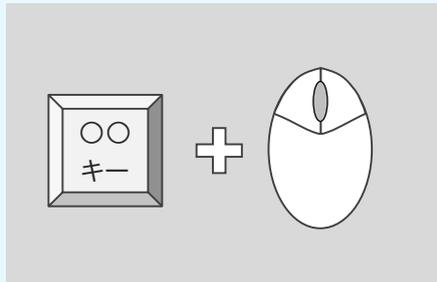
ホイールを動かす

マウスの中央にある“ホイール”を前後に動かす（回す）操作です。画面をスクロールするような操作によく利用します。



ドラッグ

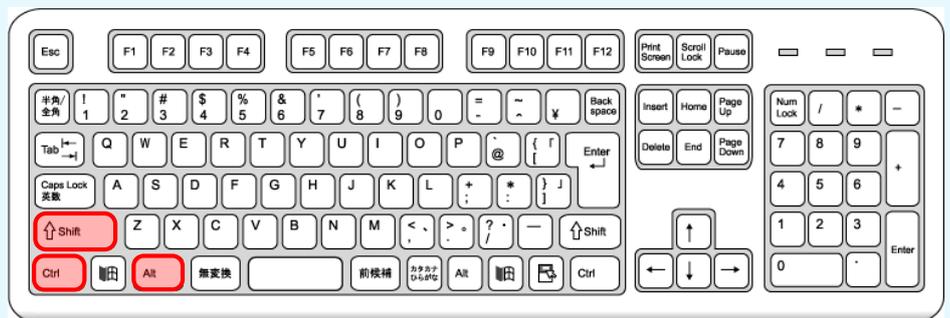
選択しているものをマウスのボタンを押したまま動かす操作です。場所を移動させたり、サイズを変えたりする場合によく利用します。



キーボードとの組み合わせ

マウス操作にキーボードのキーを組み合わせて操作を行うことがよくあります。

※キーボードのキーのうち、マウスと組み合わせて使用することが多いのは、Ctrl(コントロール)キー、Shift(シフト)キー、Alt(オルト)キーなどです。





3. タッチ画面の基本操作を知ろう

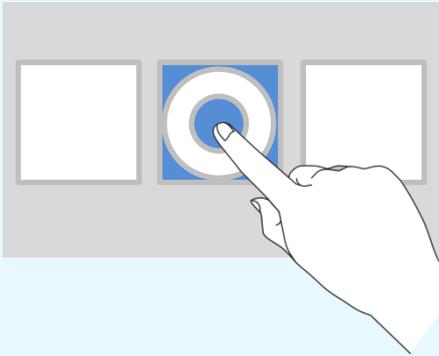
Windows10 はタブレットやタッチ操作対応のパソコンなら指による操作で扱うこともできます。基本的な指による操作は次の通りです。

※キーボードとマウスの操作のみの方は飛ばして先に進んでいただいても結構です。

解説を
読もう

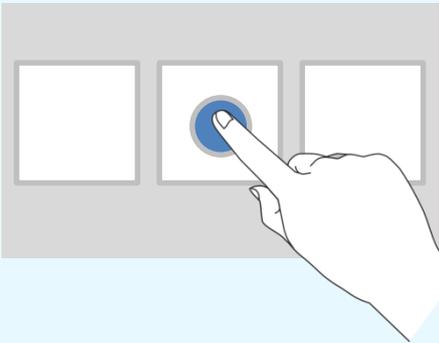


指によるタブレットの基本操作



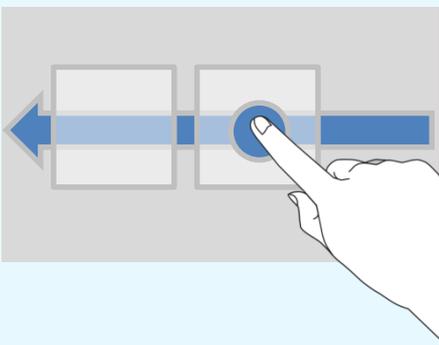
タップ

画面を軽く叩く操作です。
主に、何かを実行するような場合に利用します。



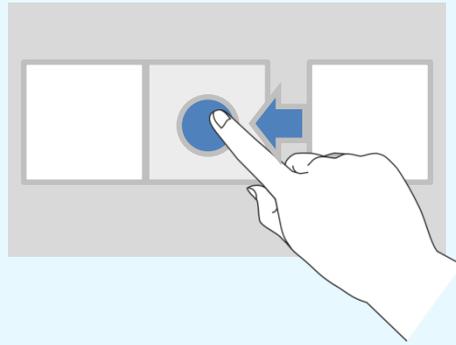
長押し

少しの間、指で押さえ続ける操作です。
詳細情報やメニュー、ヒントが表示されます。



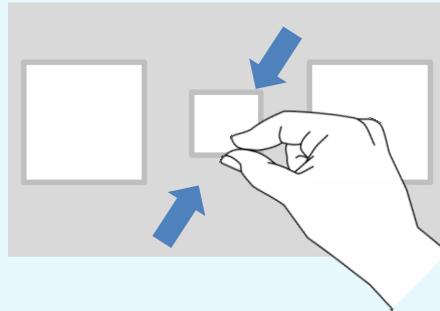
スライド

選んだものを動かす操作です。アプリによっては
線や文字を描くような操作にも利用できます。



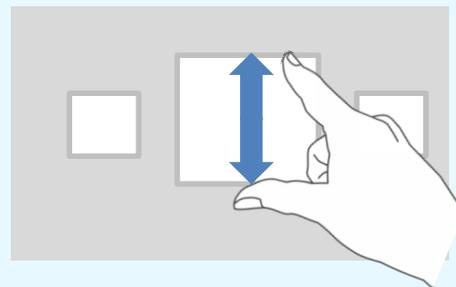
スワイプ

選んだものを少し動かすような操作です。スライドとよく似ていますが、距離が短く“動かす”というより“ずらす”というような感じです。



ピンチ

指で“つまむ”ような操作です。おもにサイズを小さくする場合に利用します。



ストレッチ

指で“引き延ばす”ような操作です。おもにサイズを大きくする場合に利用します。



4. Windows10 を起動する

パソコンの電源を入れると、自動的に Windows10 の起動が始まります。Windows10 が完全に起動するまでは少し時間がかかります。その間はまだパソコンを使うことはできません。また、パソコンが起動しても、そのあと「ログイン」の操作が必要な場合もあります。

解説を
読もう



パソコンの起動

パソコンの電源を入れるには、パソコン本体にある「電源ボタン」を押します。



電源ボタンを押してから、実際に使い始めるまでに少し待ち時間がありますが、この間にパソコン内部では Windows10 を使う準備を整えています。準備が整うと、次に「ログイン画面」が表示されるケースがあります。その場合はパスワードの入力が必要になることもあります。

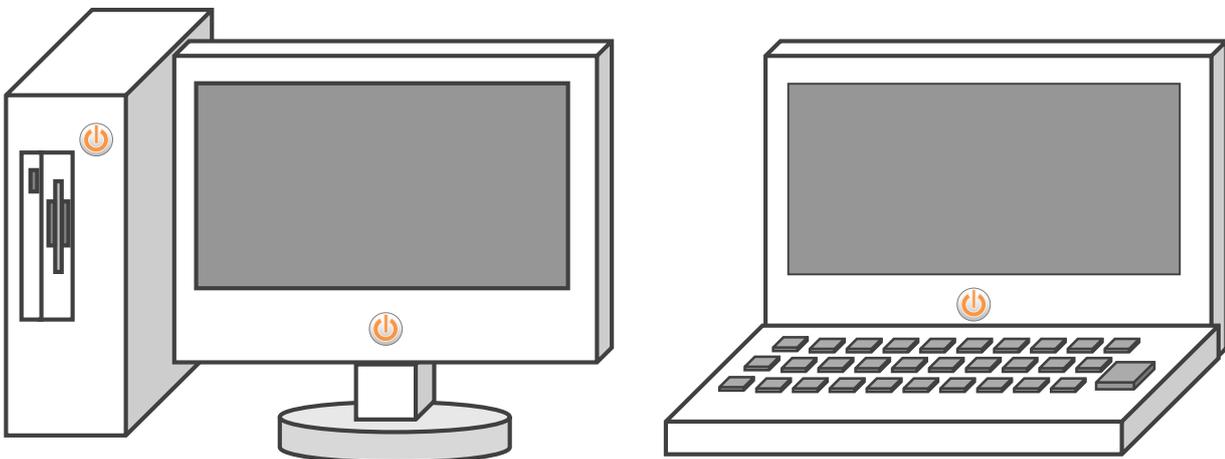
操作して
みよう



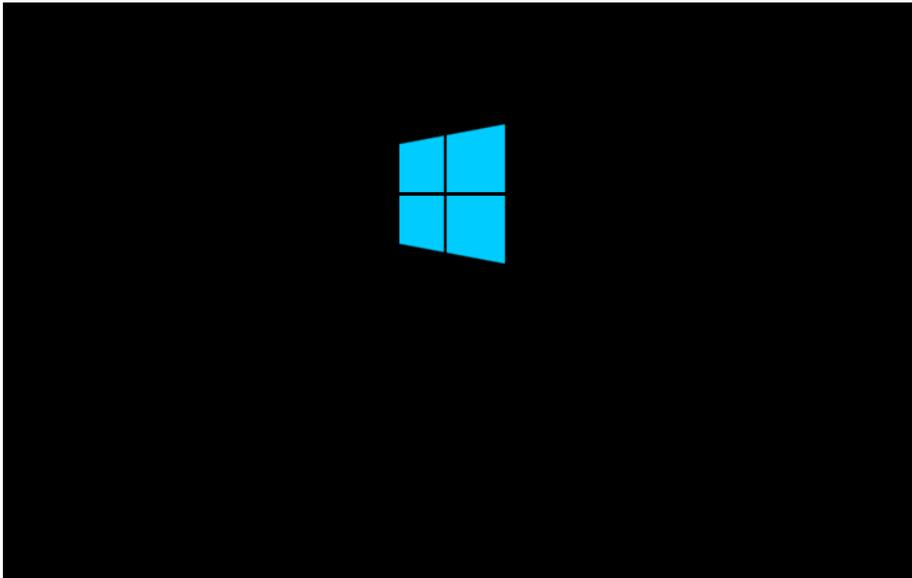
電源を入れて起動画面を表示する

1 パソコンの「電源ボタン」を押しましょう。

- ▶ 電源ボタンの場所はパソコンによって異なります。見つからない場合は、パソコンに付属の説明書（マニュアル）なども参考にして下さい。



- ▶ パソコンが起動するまでしばらく待ちましょう。

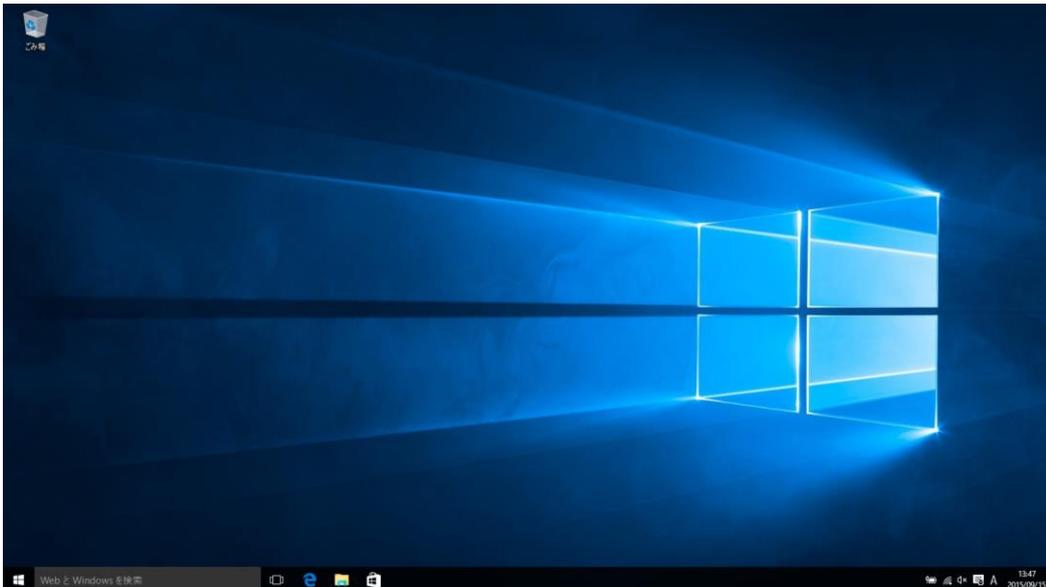


さらに
詳しく

初期設定時にパスワードを設定している場合や、複数の利用者（ユーザー）が登録されている場合は、ログイン画面が表示されます。

それらを設定していない場合は、そのままパソコンが起動します。

- ▶ パソコンが起動し、使える状態になりました。



さらに
詳しく

左図の画面を「デスクトップ画面」と呼びます。

さらに
詳しく

パスワードの入力が必要な場合

パスワードを知っている人しかパソコンを起動できないように設定されている場合もあります。その場合は、パスワードを入力しましょう。

入力中のパスワードは覗き見防止のため●印で表示されます。

さらに
詳しく

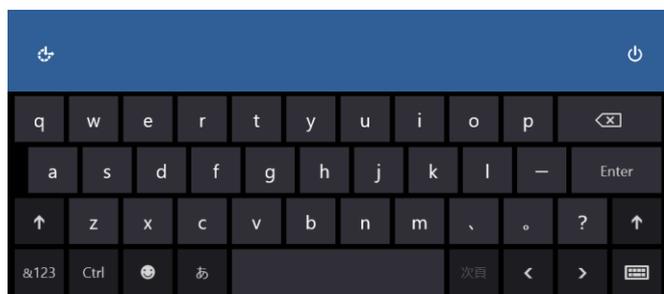
画面に「Windows Update～」が表示されている

ログイン画面を表示しているときに、右下に「更新プログラム」についての情報が表示されることがあります。これは、パソコンを安全に、かつ最適な状態で使うための作業の案内です。内容を確認し、必要に応じて操作を行うようにしましょう。

さらに
詳しく

タッチキーボードについて

タッチキーボードは文字入力を画面上で行うもので、タブレット型のパソコンなど、対応している場合に表示されます。指でタップすることで文字を画面上に入力できます。



5. デスクトップ画面の構成

デスクトップ画面の構成を確認します。パソコンを初めてお使いになる方は、この場で名称と役割をすべて覚えていただく必要はありません、操作をしながらじっくりと覚えてきましょう。

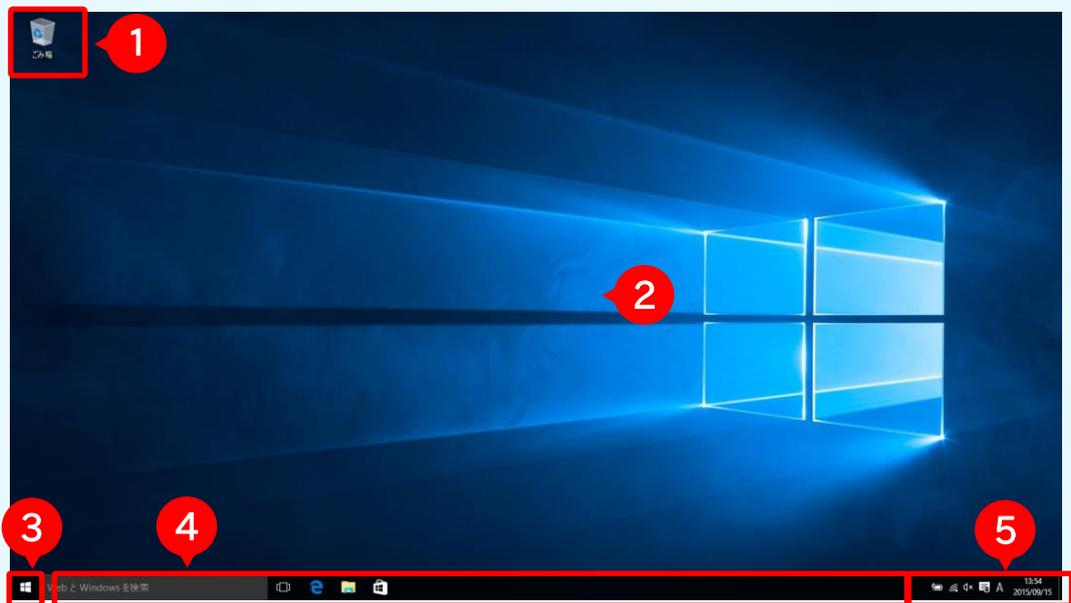
解説を
読もう



Windows10 のデスクトップ画面

パソコン上の作業はこのデスクトップ画面で行いますので、基本的な画面の構成（各部分の名称と役割）を確認しましょう。

※本書で例に挙げているデスクトップ画面は構成を最低限の表示にとどめています。そのため、お使いのパソコンとは異なる部分があるかもしれませんが問題はありません。



NO	名称	主な役割
①	アイコン	コンピューターの各機能を実行するためのものです。見本以外にも多くのアイコンがあります。役割をイメージした絵柄と名前が付いています。
②	デスクトップ	パソコンのアプリを利用して作業する場所です。
③	スタート	アプリや機能を使う準備に必要なスタートメニューを表示するためのボタンです。
④	タスクバー	現在実行中のアプリやタスク（作業）の一覧がボタンで表示される場所です。ここでアプリやタスクを切り替えることもできます。
⑤	インジケーター	現在の時刻やバッテリー情報、音量、ネットワーク、日本語入力の状態や切り替えなど、主にパソコンの状態を確認、設定できる場所です。



6. スタートメニューとアプリの起動

「文章を作る」「インターネットに接続して情報を見る」「写真を管理する」「年賀状を作る」など、パソコンで何かを行うには、それに応じたアプリを呼び出す必要があります。アプリを呼び出すことを“アプリの起動”と呼びます。アプリの起動にはスタートメニューを利用します

解説を
読もう



スタートボタンとスタートメニューとは

画面左下にある  マークがスタートボタンです。これをクリックすると、スタートメニューが開きます。

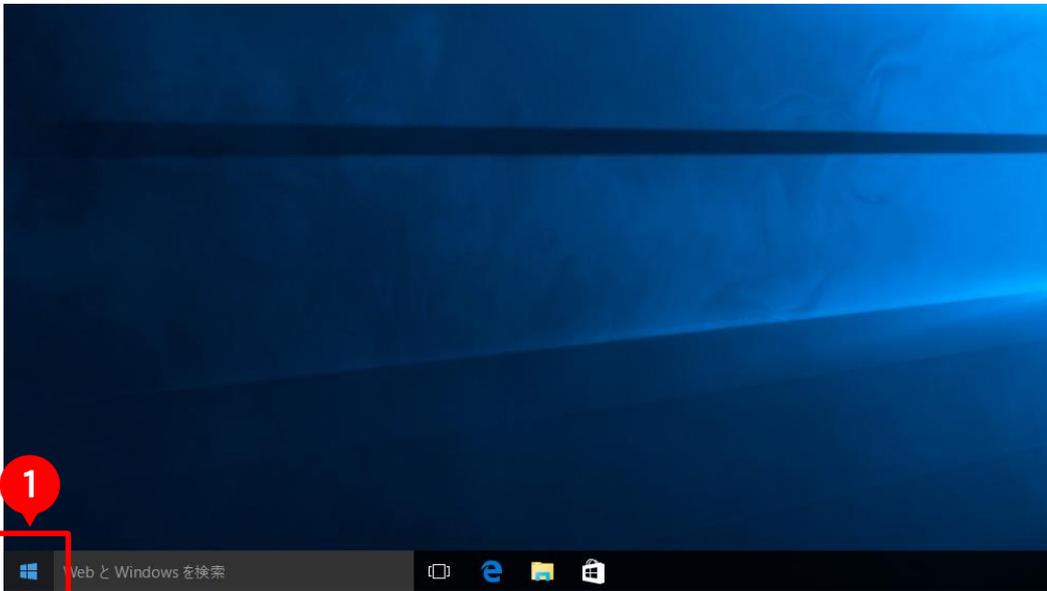
スタートメニューでできることは、アプリを起動したり、パソコン内のデータを見たり、パソコンの設定を行ったり、電源を切ったりとさまざまです。

操作して
みよう



スタートメニューを表示する

1 画面左下のスタートボタンをクリックしましょう。



さらに
詳しく

キーボードの  (Windows) キーでもスタートメニューが表示できます。